

1 単元 これからの工業生産とわたしたち

2 単元の目標

わが国の工業生産について、わが国の工業生産に従事している人々の工夫や努力と工業生産を支える貿易や運輸などの働きなどを、資料を活用して具体的に調べ、わが国の工業生産は、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・国民生活を支えるわが国の工業生産の課題について意欲的に考えようとしている。	・わが国の貿易の特色や工業生産の発展について考え、適切に表現している。	・資料を活用して、わが国の工業の問題点や、貿易や運輸の働きについて必要な情報を読み取っている。	・工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解している。

4 単元の指導について

(1) 教材観

本単元では、学習指導要領に示された(3)の「ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き」を受けて設定したものである。児童は、これまでにわが国の農業や水産業が国土の自然環境を生かして営まれ、国民の食生活と密接なかかわりをもっていることや、それらに従事する人々の生産を高める工夫や努力について学習してきた。本単元では対象を食料生産から工業生産へと移し、日本の工業生産における資源の有効な利用と確保、環境保全への取組などに見られる工夫や努力、原材料の確保や製品の販売などに見られる貿易や運輸などの働きを手がかりとして、国民生活を支えているわが国の工業生産の役割や今後の発展について考えられるようにする。

(2) 児童の実態(平成*年*月*日, 第5学年*組 *人実施)

右の表は、米作りの学習における社会的事象の意味について考えることの実態調査の結果である。米作りに係る費用の変化から米づくりの様子の変化について考える問題では正答が*人、米作りの作業時間が変化した理由について、複数の資料を適切に関連付けて記述することのできた児童は*人であった。また、庄内平野で稲作が盛んな理由について、4つの資料から読み取った情報を関連付けて記述する問題では、全ての資料を適切に活用して記述した児童は*人であった。

米作りにかかる費用を比較して、米作りの様子の変化について考える問題			
正答	*人	誤答	*人
米作りの作業時間が変化した理由を資料と関連付けて記述する問題			
稲刈り以外の作業についても言及		*人	
稲刈りにのみ言及		*人	
その他		*人	
庄内平野で稲作が盛んな理由について、資料を関連付けながら記述する問題			
全ての資料を適切に使用		*人	
1~3つの資料を適切に使用		*人	
記述できなかった		*人	

以上の結果から、本学級の児童には社会的事象の意味について考える力が十分に育っていないという課題があることが分かった。そのため、比較・関連付けといった思考方法を用いて社会的事象をとらえるための手立てや、より広い視野から多面的に社会的事象を考察するための手立てが必要であると考えます。

(3) 指導観

本単元では、比較・関連付けといった思考方法を用いて社会的事象の特色をとらえ、それらを話し合う中で、より広い視野から多面的に社会的事象を考察する力を育てたいと考える。そこで、思考ツールを活用したワークシートを用いて、学習した用語・語句レベルの知識を互いに比較したり関連付けたりすることで、社会的事象の特色を捉える。次に、それら複数の社会的事象の特色についての自分の考えをイメージマップを取り入れたワークシートにまとめ、それを基に話し合い活動を行う。これらの学習活動を通して、児童が社会的事象の特色を捉え、より広い視野から多面的に社会的事象を考察する力を育てることができると考える。

5 指導計画(5時間取り扱い)

時	学習内容・活動	関	思	技	知	観点別評価規準
1	日本の工業には、従業者数の減少や海外製品との競争などの様々な課題があることを調べる。	○		○		・日本の工業生産の課題について意欲的に考えている。 ・各種の資料から、日本の工業の問題点を読み取っている。

2	持続可能な社会を目指した、日本の取り組みについて調べる。			○	・持続可能な社会に向けて、電気自動車の開発や再生可能エネルギーなどの研究が行われていることを理解している。
3	日本の輸入の特色について調べる。		○		・日本の輸入の特色を適切に表現している。
4	日本の輸出の特色について調べる。		○		・日本の輸出の特色を適切に表現している。
5	これからの日本の工業生産の在り方について自分の考えをまとめる。		○		・工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現している。

6 本時の指導

(1) 目標

日本の工業の課題や持続可能な社会への取り組み、日本の貿易の特色から、これからの日本の工業生産の在り方について自分の考えをまとめることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート・掲示物・テレビ・タブレット端末

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <p>これからの日本の工業を発展させていくためには、どのような努力が必要になるだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの板書を撮影したものや資料等をテレビに映して振り返り、本時の課題をつかめるようにする。
<p>2 これまでの学習を振り返り、イメージマップを作成する。</p> <p>(1) 前時間までのワークシートを参照し、マップに書き込む。</p> <p>(2) それぞれを比較、関連付けながらつなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の工業の課題や持続可能な社会に向けた取り組み、日本の輸出入の特色についてイメージマップに書き込めるようにする。 ・「比較する」「関連付ける」など、それぞれの社会的事象をつなげるための観点を、黒板に掲示し、児童が活用できるようにする。 ・わが国の工業生産の発展に着目して、そのためにできることを具体的に考えられるように助言する。 ・発表の際には自分のイメージマップを見せながら発表ができるようにする。 ・友だちの意見を聞く時には、自分の意見と似ているところや違うところに注目し、付箋にメモをしながら聞けるようにする。
<p>3 イメージマップを基に自分の考えをまとめる。</p>	
<p>4 グループでお互いのイメージマップや考えについて発表し合い、意見交換をする。</p> <p>(1) お互いの意見を発表し合う。</p> <p>(2) 付箋にメモをしながら意見交換を行う。</p>	
<p>5 本時の学習のまとめを行う。</p> <p>(1) 付け足しを行ったマップを参考にしながら、再度、自分の考えをまとめる。</p> <p>(2) 学級全体で意見交流をする。</p> <p>これからの日本の工業を発展させていくためには、日本製品の信頼性を高める工夫や努力を継続し、世界の人々から認められる製品を作ることが大切です。</p>	<p>評 これからの日本の工業生産の在り方について、自分の考えをまとめている。【思・判・表】 (ワークシート、ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップに付け足したことを自分の言葉に直して、自分の考えに取り入れられるよう助言する。 ・話し合いによって自分の考えが深められた点や変化した点も述べられるようにする。